

# 緑 風

NO. 34  
2022

●発行／令和4年8月1日

●発行所／津山市森林組合

本 所 岡山県津山市沼596番1地

〒708-0824 TEL.0868-23-1283

FAX.0868-23-1276

加茂支所 岡山県津山市加茂町桑原297-10

〒709-3923 TEL.0868-42-3124

FAX.0868-42-4417

## 皆伐・再造林を推進し 地域振興を図ろう



キンラン（津山市新野山形の山林にて）  
【岡山県絶滅危惧Ⅱ類・環境省絶滅危惧Ⅱ類（VU）】

### 目 次

◆第17回通常総代会開催	2
◆令和3年度決算状況・余剰分処分決定内容	2
◆令和4年度運営の基本方針および事業計画	3
◆職員紹介・新人紹介	3
◆理事会報告	4
◆市長への要望書	4

## 第17回通常総代会開催

令和4年6月23日13時30分より第17回通常総代会をグリーンヒルズ津山リージョンセンターにおいて3年ぶりの有観客による通常総代会を開催致し、併せて永年勤続表彰（20年）を職員2名（下山正晃氏、片岡敬紀氏（フォレスター））に対し、行いました。

総代会は、総代出席者143名、書面議決書48名、委任状による代理人出席6名の合計197名にて定款に定める定数に達していることを報告し、能勢正博副組合長が開会を宣言しました。

はじめに竹花祐治代表理事組合長より、『我が国の骨格である7割の森林は組合員が保持し、地球上で唯一再生産可能な資源である木材を適切に管理しもって地球環境の保全に貢献しています。森林・林業の施策については安定財源としての森林環境税・森林環境譲与税が創設され、津山市においてもこの財源を活用した支援制度が、また森林経営管理制度もモデル的に動きだしました。津山市森林組合としても今後も鋭意取り組むことに加え、森林経営管理制度及び森林環境譲与税の効率的・効果的な執務のため、津山市と連携して組合員の社会的地位の向上等、これまで以上に積極的に取り組んで参ります。令和3年度、事業取扱高は40,808万円を計上できたことは、組合員を始めとする関係各位のご協力のおかげと謝意を表し、今後も森林組合の所期の目的達成を目指し、努力していく。』旨挨拶をしました。続いて、津山市長 谷口圭三様の祝辞及び岡山森林管理署長 岩田幸治様のメッセージ（伊藤正博次長代読）を賜り、来賓の方々のご紹介をしました。

議事に入るに当たり議長選出につき組合長が諮り、第1選挙区 内田雅章総代長、第2選挙区 下山哲夫総代長を選任しました。

議事では、第1号議案において令和3年度の事業実行結果を報告し、また、第2号議案においては、令和4年度の重要課題を含め具体的な事業計画を提案しました。さらに、第3号議案から第7号-1～10議案及び付帯決議事項が上程され、審議の結果、以下の全議案について異議なく原案の通り可決、決定され副組合長 能勢正博の閉会の挨拶により15時10分に終了しました。

- 第1号議案 令和3年度事業報告書・貸借対照表・損益計算書並びに  
剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 令和4年度事業計画案承認の件
- 第3号議案 令和4年度借入金の最高限度額決定の件
- 第4号議案 令和4年度貸付金の最高限度額決定の件
- 第5号議案 令和4年度における余裕金の預け入れ金融機関決定の件
- 第6号議案 令和4年度役員報酬額決定の件
- 第7号-1議案～第7号-10議案 定款等の一部改正の件外  
付帯決議事項（軽微な事項の修正及び行政庁より指示ある場合の修正は組合長に一任する。）



## 令和3年度 決算状況・剰余金処分決定内容

### 1. 決算状況

（単位：円）

科目	小計	合計
事業総収益	408,082,760	
事業総費用	286,369,704	
事業総利益		121,713,056
事業管理費計		111,740,694
事業利益		9,972,362
事業外損益		3,871,373
経常利益		13,843,735
特別損益		△ 1,532,387
税引前当期利益		12,311,348
法人税、住民税及び事業税		3,500,000
当期剰余金		8,811,348
前期繰越剰余金		34,063,951
当期末処分剰余金		42,875,299

### 2. 剰余金処分決定内容

（単位：円）

科目	積算内訳	小計	合計
当期末処分剰余金			42,875,299
剰余金処分額			
法定準備金	当期剰余金の 1/5以上	1,800,000	
任意積立金		7,000,000	8,800,000
次期繰越剰余金			34,075,299

- 脚注 1 任意積立金の積立目的、積立目標額は次のとおりである。  
**【積立目的】**  
 組合の事業発展、損失のてん補又は高性能林業機械等の購入等の支出に備える。  
**【積立目標額】**  
 目標額 800,000,000円  
 積立額 443,364,000円
- 2 次期繰越剰余金中教育情報資金は、450千円である。

## 令和4年度 運営の基本方針および事業計画

### 基本方針

本年度の重要課題として、森林経営計画の樹立、間伐事業の集約化・団地化に積極的に取り組み、木材産業国際競争力強化対策事業等による作業道開設、高性能林業機械の活用により低コスト施業及び提案型施業の実施、皆伐・再造林促進支援事業の推進に努めます。

各事業の推進について、市内全区域において、一体的事業運営を図り、組合の使命である健全な森林づくりを基本とし、各種補助事業を活用し、森林の整備、林業生産活動を促進させ、組合員の付託に応え地域社会の発展に寄与すべき、重点目標を掲げその推進を図ります。又、森林組合の今後の運営においては一段と厳しさを増すことが推測され、将来の健全な組合運営に努める所存であります。

- 指導部門 組合員参加の組合運営を推進する。森林経営計画の樹立を積極的に推進する。
- 販売部門 組合員の信頼を高め、素材の受託販売により組合員の所得増加を図る。
- 森林整備部門 間伐施業の集約化、作業道の普及を推進し、作業の経費軽減に努め、間伐の推進。皆伐・再造林促進支援事業の積極的な推進。木材産業国際競争力強化対策事業の適正なる実施。フォレスターの安定就労と素材生産における高性能機械利用により経費の軽減。労働災害防止活動を積極的に推進し、安全で健康な職場づくり。

### 事業計画

(単位：千円)

部門	収 益	費 用	損 益
指 導	310	1,400	△ 1,090
販 売	15,528	5,519	10,009
森 林 整 備	384,984	272,725	112,259
合 計	400,822	279,644	121,178
事業管理費		116,953	116,953
事業外損益	3,000	3,000	0
経常利益			4,225



### 職員紹介

令和4年7月より職員役職名です。よろしくお願い致します。

	氏 名	役 職		氏 名	役 職
本 所	福田 直樹	参 事	加茂支所	黒田 光記	支 所 長
	松岡 洋平	業務課課長補佐		河野 晃久	業務課係長
	山本 総太	業務課主任		下山 正晃	業務課係長
	土井 紘易	業務課技術員		上畑 貴代	総務課主任
	眞木 純子	会 計 主 任			
	安達 陽子	総務課主任			
	児玉 菜穂	書 記			



### 新人紹介

令和4年4月1日より正社員となった職員を紹介します。

#### ● 本 所 (書記) ● 児玉 菜穂



本所事務所にて、主に購買を担当しております。その他にも、経理事務(補佐)や森林保険加入の手続き、事業等の請求業務(補佐)をしています。

採用時、林業について未経験ではありましたが、周りの先輩方に助けて頂き、日々勉強をしながら業務にあたっています。

組合員の皆様やお客様と接する機会も多いので、明るく気持ちの良い対応を心掛けております。至らない点も多々あるかとは存じますが精一杯頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

**理事会報告** 次の事項について審議し、決定しました。

**開催日：令和4年3月24日**

- ①令和3年度決算見込みについて
- ②決算処理（案）について
- ③固定資産の取得について（案）
- ④組合員の加入・脱退について
- ⑤規程類の一部改正について（案）
- ⑥森林組合系統運動方針（案）
- ⑦その他

**開催日：令和4年5月10日**

- ①令和3年度貸借対照表・損益計算書並びに剰余金処分案について
- ②その他

**開催日：令和4年5月26日**

- ①第17回通常総代会の招集について
- ②第17回通常総代会の附議事項について
- ③育児・介護休業等に関する規程の一部改正の件
- ④その他

**開催日：令和4年6月29日**

- ①執行部等執行権限決定について
- ②理事報酬額決定について
- ③職員給与改定及び夏季賞与支給について
- ④規程類の一部改正について
- ⑤県道小原船頭線拡幅工事に係る補償費について
- ⑥その他

**「森林環境譲与税を活用した森林整備の推進等に係る要望書（令和4年3月）」を津山市森林組合長から津山市長等に手交し要望**

〔要望書 本文〕

私たち森林組合は、森林所有者を組合員とする協同組合として、地球温暖化防止や国土の保全、水源のかん養等森林の有する多面的機能の発揮に向け、日々森林の整備・保全に取り組んでいます。

地球の生活基盤や、住民の生命を守るためには適切な森林の整備を進める必要がありますが、境界不明確や路網の未整備、担い手不足等により十分な整備が進まないことが大きな課題となっています。

このような状況の下、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、令和元年度に森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。

近年は、局地的豪雨による山地災害の多発や政府による2050年カーボンニュートラル実現の表明を受け、森林整備の必要性・重要性について関心が高まっているところです。

加えて、新型コロナウイルス感染症に伴う世界的な木材需給の変動等により、国産材に需給がひっ迫したことから、成熟した森林資源を有効に活用する循環型林業を強力に推進することが求められています。

このような中、森林組合系統では令和3年10月に「JForestビジョン2030」を決議し、「地域森林の適切な利用・保全と林業経営のさらなる発展に向けて」をスローガンに、適切な森林の利用・保全を通じて森林の持つ多面的機能の維持増進を図り、SDGsの達成に貢献していくこととしています。

つきましては、地域の森林所有者の総意として、森林整備の推進や地域経済の活性化等を実現するために、森林環境譲与税を積極的に活用していただきたく、下記の要望項目について、特段のご高配を賜るようお願い申し上げます。

記

- 1 森林所有者負担の更なる軽減による森林整備の推進
- 2 経営管理制度の積極的推進のための体制整備と集約化 等の促進
- 3 路網整備（林道・林業専用道・森林作業道の開設・改良）及び既存路網の管理のための予算措置の推進



要望書手交者（9名）

- 谷口 圭三 津山市長
- 山田 賢一 副市長
- 中川 竜二 農林部長
- 坂元 勝之 森林課長
- 野口 薫 企画財政部長
- 津山市議会／津本 辰己 議長
- 中島 完一 副議長
- 原 行則 産業委員長

